

日本画制作における抽象表現

芸術学部
日本画専攻

教授 **今村 雅弘** IMAMURA Masahiro

教員情報



キーワード

絵画・日本画・抽象

研究シーズの概要

日本画における抽象表現を中心に研究

研究シーズの詳細

◆研究例◆

創作研究については、これまで行ってきた平面絵画における日本画の抽象表現を中心に研究し、制作した成果物を画廊などの展示で紹介する。作品の内容については、「気色」をテーマとして創作している。形と形、色と形の関係の中で見えてくる気配や余韻などを探る作業である。

主な研究発表は日本画の公募団体である一般社団法人創画会の主催する「創画展」で年間2回の定期作品発表、その他付随する企画展等を通して広く日本画の魅力を紹介することとしている。

大学での教育研究では日本画表現の基礎的技法や表現方法をととして、社会と関わるまでの創作能力を養い、更に作家を目指す修了生を日本画研究室の企画展である「芸美会」や「Flag of the West」等の展示に招き、全国に作家として紹介している。

<https://hcur1.acoffice.biz/hcuhp/KgApp/k03/resid/S001754>



応用例・セールスポイント

- ◆生涯学習指導（日本画作品制作など）
- ◆高校生への絵画制作指導
- ◆絵画作品審査、講評

【問い合わせ先】 広島市立大学 地域共創センター 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1 (情報科学部棟別館1F)
TEL:082-830-1764 / FAX:082-830-1555 / E-mail:ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp